

2012 年度入学式 式辞

中京大学学長

北川 薫

春を迎えても、1 年前に東北地方を襲った東日本大震災の傷跡は未だ癒えず、復旧は緒に就いたばかりです。世界に目を転ずれば、欧州の経済不安や国際政治の先行きも不透明で、二十一世紀も 10 年を経たのに確たる将来像が描けないでいます。

こうした中、皆さんは大学の門をくぐりました。不安定さの中に安定に向かう道を模索する使命を担うのは、いつも若者です。大学での学び、仲間との触れ合いの中から、皆さんなりの世界像、価値観を築いていかなければなりません。

大学での成長過程を表現する言葉があります。「1 年生は、自分が何も知らないことを知らない」「2 年生は、自分が何も知らないことを知っている」「3 年生は、自分が何を知っているかを知っている」「4 年生は、自分が何を知らないかを知っている」。

これからは、謙虚に自分や現実と向き合い、先生や友に学ぶ姿勢を整え、着実に足元から社会へ、そして世界へ、と視点を広げていってください。

中京大学を貫く精神は「知力」「体力」「気力」と「フェア精神」を磨くことにあります。この建学の精神は人間が生きていくうえで、社会生活を営む上で、とるべき道を示しています。これを心にとどめて心身ともに豊かな学生生活を送ってください。

皆さんは、今、この時から中京大学生としての生活が始まります。目標に向かって、四年間、努力を続け、それぞれが目指す分野で存分に活躍できるだけの実力を養ってください。